

業まつりやしまばら温泉不知火まつりをはじめとする様々な分野の事業に多様な住民参画をいただくとともに、サムライブルー龍馬像の設置やわたしの便利帳の発刊などにおきまして、市民皆様や事業所等の皆様に多大なご協力をいただきました。本年も、市民皆様との協働のまちづくりの理念を基本に置いて、具体的な事業の推進を図ってまいりたいと存じます。

さて、本市では、昨年3月に、これからの概ね10年間を見据えたまちづくりの指針であります「第6次島原市市勢振興計画」を策定いたしました。

本年も、振興計画の実行指針であります五つの都市づくりビジョンに沿って様々な事業を実施してまいります。それら事業構想の一部を簡略にご紹介しながら新年の抱負の一端を述べたいと存じます。

一つ目は「島原半島の中心都市づくり」についてであります。

昨年、平成22年度から30年間の新規大型事業として島原地区を対象とした地籍調査事業がスタートしました。本年は、道路や上水道、市街地等の都市基盤整備のほか、新しい光を放つまちづくりにふさわしい新庁舎の建設に向けた準備をさらに進めてまいりたいと存じます。また、島原の歴史を振り返りますと、本市のシンボルとしてそびえ立つ島原城は、あと十数年で築城400年を迎えます。これ

から、築城400年を見据えた、本市の確固たる産業基盤づくりや歴史、文化薫るまちづくりに向けた施策の検討を進めてまいりたいと考えております。

二つ目の「交通・情報ネットワークづくり」についてであります。が、昨年11月に島原中央道路の眉山トンネルが無事貫通し、島原半島住民の悲願であります島原道路の早期完成に向けた大きなステップとなりました。本市で全国和牛能力共進会が開かれる平成24年秋までのトンネルの供用開始はもとより、残る計画路線区間の早期着工等を強くお願いしてまいります。



▲眉山トンネル貫通

三つ目の「安全・安心な暮らしづくり」についてであります。が、昨年は、バスポート窓口や消費生活センターを市役所内に開設したほか、島原の特色ある風物や産物などの地域情報も掲載した「わたしの便利帳」を発刊しました。本年も、公用車へのエコカー導入や

新エネルギーの普及促進をはじめとする地球環境保全の取り組みや各種防災対策、交通安全・防犯の推進等、快適な生活環境の整備に努めてまいります。

四つ目の「特色ある産業づくり」についてであります。が、昨年は、国の緊急経済雇用対策を活用した「島原城・武家屋敷城下町風情創出事業」をはじめとする多様な観光施策や物産展事業、島原の産業祭の拡充等を実施してまいりました。本年も、3月の九州新幹線鹿児島ルートと全線開業を契機とする熊本を介した九州縦断・横断ルートの確立や広く本州方面からの観光・物流の推進を図り、島原半島ジオパークを核とした観光施策の実施はもとより、特産品の創出や積極的な物産展事業等により島原産品のブランド化と販路拡大に努めてまいります。島原半島ジオパークの推進につきましては、平成24年5月のジオパーク国際ユネスコ会議島原大会の開催に向け、具体的準備を進めており、同年10月に開催される全国和牛能力共進会の受け入れ準備も鋭意進めてまいります。

五つ目の「健康で誇り高く暮らせる《ひとづくり》」につきましては、平成22年度から子ども手当の支給を始めておりますが、本年も、健康・医療面では各種子育て支援事業や予防接種事業の推進を図り、医師確保の問題に關しましても、引き続き関係機関等に対する働きかけを行ってまいります。教育施設の耐震対策につきましては、平成23年度中に第一小学校の改築が完了し、同年度に第三小学校の改築工事を起工の予定であります。また、同年度中に安徳海岸埋立地にフットボールセンターの建設を予定しており、平成26年の長崎がんばらんば国体に向けた弓道場の整備等も年次計画で進めてまいりたいと存じます。

これらのビジョンを支える「三つの行動方針」に關しましては、行財政改革の着実な実施や的確・迅速な情報提供など、本年も引き続き、各種施策をタイムリーにかつ効果的に実施してまいります。

以上が、五つの都市づくりビジョンに沿った私の新年の抱負の一端であります。

大変厳しい社会情勢、経済環境下ではあります。が、市民皆様の英知と力を結集し、ともに汗を流すという「市民と行政の協働」によるまちづくりを推し進め、歴史や文化、雄大な自然やその恵みなど他の地域にはない素晴らしい潜在力を磨き、活かして、未来に向けて光を放つ島原市を着実に築き上げてまいりたいと存じております。

どうか、皆様方の一層のご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

本年が、皆様にとりまして、良き年となりますよう心から祈念いたします。新年のご挨拶といたします。